

事務事業名		都市計画基礎調査事業				<input type="checkbox"/> 事後(中間)評価対象事業			
総合計画	政策名	0:4: 自然環境と生活環境の調和のとれたまちづくり				所属課	建設水道課	担当	建設担当
	施策名	0:3: 計画的な土地利用と都市計画の整備				課長名	斎藤秀人	担当者名	若目田 崇行
予算科目		会計	款	項	目	事業	事業コード名	関係法令・条例等	都市計画法
		一般	0:7	0:3	0:1	0:0:1	都市計画総務費		
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 28 年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定 (年度～ 年度)			
事務事業の概要 (事務事業の内容を記載)		<p>1 事務事業概要 ※5年に1度 都市計画法第6条に規定される法定調査で、栃木県が制定する調査実施要綱により5年に1度実施各市町及び県の都市計画をはじめ、各種計画の検討・策定の基礎データとなるものである。調査結果を最大限に利用するため、今回の調査より提出データが、GISに反映できるファイル形式(Shape形式(座標を紐付けたもの))と指定されており、高度な電子技術を要するため業務委託によって調査を完了させる。</p> <p>2 概算事業費(※ランニングコストが掛かる事業については、概算で算定し記入すること) 委託料 5,247,000×1.08=5,666,760 (県説明会資料より)</p>							

(1) 事務事業の目的と指標		(4) 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 活動の計画(活動の量・大きさ・規模等)	都市計画基礎調査(5年に1度)	名称	単位
② 対象(事業は誰・何を対象にしているのかを記載)	調査項目	ア 調査回数	1
③ 目標(この事業によって、対象をどうしたいのか記載)	調査を完了	イ 調査項目数	21
		ア 調査完了数	21
		イ	

(2) 指標・総事業費の推移		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度 総合計画 最終年度
活動指標	ア	目標値	1	1				
		実績値	1					
対象指標	ア	目標値	21	21				
		実績値	21					
成果指標	ア	目標値	21	21				
		実績値	21					

計画		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
投入量	事業費	国庫支出金	千円				
	財源内訳	県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円		5,667		
		事業費計(A)	千円	0	5,667	0	0

実績		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
投入量	事業費	国庫支出金	千円				
	財源内訳	県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円				
		事業費計(A)	千円	0	0	0	0

評価項目	説明	事前評価結果	実施後の状況	事後評価結果
目的妥当性評価 ① 公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのですか？税金を投入して、達成するものですか？	法定調査	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
有効性評価 ② 着手・実施の必要性 この事務事業をなぜ着手・実施しなければならないのか？先延ばしにできない理由は何か？	法定調査	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
効率性評価 ③ 総事業費の算定根拠 算定にあたってコスト削減策を考えたか？将来のコスト増要因に対して対策が考えられているか？	県の試算より 発注の際は打合せ協議により、できるものは直営で実施する	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
公平性評価 ④ 受益と負担との関係 事業の内容は受益と負担との公平性が考慮されているか？	法定調査	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり

3 事前評価結果

事前評価日： 平成 27 年 11 月 27 日

(1) 事前評価者として判断した今後の事業の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 1次案のまま採択 <input type="checkbox"/> 下記条件で採択 <input type="checkbox"/> 不採択 <input type="checkbox"/> 差し戻し	
(2) 採択条件	(3) 指示事項(事務事業に関する指示、事後(中間)評価日程等)

4 成果検証

事後(中間)評価日： 平成 年 月 日

事務事業実施後の概要 (実施しての効果、受益者等の反応、問題点、課題等を記載)	
--	--

(1) 評価結果(今後の方向性) <input type="checkbox"/> 優(成果大) <input type="checkbox"/> 良(良好) <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可(成果なし・中止・計画変更必要)	
(2) 総評	(3) 指示事項 <input type="checkbox"/> 再評価対象事業